

# Q

一番奥の歯が割れて歯を抜いたのですが、どのような治療方法がありますか？

# A

**義歯やブリッジ、インプラント…  
治療法を理解し主治医と相談を**

一般的に歯を失った時の治療方法は、①義歯  
②ブリッジ ③インプラント ④歯を入れない  
という選択肢があります。

一番奥の歯の場合、①義歯は1本だけになる  
ため、義歯の安定が悪く、入れても違和感が多  
くかめないと感じられる場合がほとんどです。

②ブリッジは手前の歯を2本利用して治療す  
る場合が多いですが、一番奥の歯は延長して作  
製するため、支台となる手前の歯に過剰な負担  
がかかりやすく長持ちしない可能性があります。  
また歯が割れる傾向の方は、歯ぎしりなどの可  
能性があるため、歯に負担が加わりやすい治療  
方法は避けた方がよいと思われれます。

③インプラントは違和感も少なくしっかりか  
むこともできますが、保険外診療、外科手術を  
伴う、治療期間が長いことを理解されることが  
必要です。しかしながらインプラントは以前と  
比較すれば成功率も高く長期安定する確率も高  
くなりましたので、お口への投資と考えれば悪  
くない選択です。ただし、しっかりかめるので、  
かむ力が強いとか、歯ぎしりされる方は治療後  
に定期的にかみ合わせの調整が必須です。

歯が悪くても不自由を感じられない場合は、  
④歯を入れないという選択も考えられます。た  
だし、残っている歯への負担が過剰になり、失  
われた歯とかみ合っていた歯が伸びて、かみ合  
わせの問題を起こす可能性があります。どの選  
択にされるかは十分に理解された上で、主治医  
としっかり相談して決められることが大切です。

回答医師 **飛田 晴康** 先生



飛田歯科医院 院長  
1985年大阪歯科大学卒業。東  
京都港区、京都府南丹市、神戸  
市東灘区の歯科医院勤務を経て、  
2005年より現職。



■ 岡山市北区広瀬町11-19  
■ TEL.086-222-3194

U R L <http://www.tobitadc.jp/>